

看護師として成長できる1年間です

新人看護職員が看護専門職として必要な知識・技術の習得が出来るよう支援します。

仲間づくり 基本的看護技術研修



4月



5月



先輩看護師から新人看護師へ



メンタルヘルス研修



6月



頼りになる新人教育担当者がついてます！

フィジカルアセスメント研修

7月



9月

グループワーク



11月

状況設定シミュレーション



2月



新人看護職員研修3年プログラム

目指す看護師像:3年間で急性期病院の看護専門職としての責任と自覚を持ち、看護を提供することができる

2020/3/14 修正

		1年目												2年目				3年目																																				
到達目標	基本的姿勢と態度	<ul style="list-style-type: none"> 看護師としての自覚と責任のある行動をとることができる 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から情報収集し、関係者と情報共有できる 助言を受けながらチーム医療の構成員として協働できる 患者家族や他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとることができる 自己の学習課題を見つけ、助言を受けながら解決に向けて行動できる 												<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報をもとに、患者の全体像の課題をたどることができる PNSにおけるチームメンバーとしての役割を理解し、メンバーシップを発揮して協働できる 学習の成果を自らの看護実践に活用できる 				<ul style="list-style-type: none"> 受け持ち患者のニーズを把握し、助言を受けながら看護の展開ができる チーム医療の構成員としての役割を理解し、関係職種とメンバーシップ・リーダーシップを発揮して協働できる 学習の成果を自らの看護実践に活用できる 																																				
	技術的側面	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な看護技術の根拠と手順を理解し、必要に応じて助言を受けながら看護が実施できる バイタルサインや意識レベル、検査値などから、患者の異常に気づくことができる。また、緊急性を判断し、チームメンバーへの応援要請ができる 医療安全、感染管理の知識を習得し、マニュアルに基づいた安全な業務を行うことができる 												<ul style="list-style-type: none"> 基本的な看護技術を手順に従って自立して実施できる(根拠が説明できる) 解剖生理を理解し、フィジカルイグザミネーションを用いて患者の状態を適切に評価できる 患者の急変時には指示を受けながら救命処置を行うことができる 				<ul style="list-style-type: none"> 基本的な看護技術を、患者の個別性や状況に合わせて実施し、根拠に基づく指導ができる 科学的根拠に基づいたフィジカルアセスメントで患者の状態を評価し、必要時助言を受けながら適切なケアを提供することができる 																																				
	管理的側面	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護して医療情報や記録物を取り扱うことができる 看護記録の目的を理解し、正確に記録できる 業務上の報告・連絡・相談を適切に行うことができる。 助言を受けながら複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動することができる 支援を受けながら、決められた時間内に業務を終了できるよう努めることができる 助言を受けながら薬剤、血液製剤、診療材料などの管理をおこなうことができる 災害時対応の基礎知識について理解できる 												<ul style="list-style-type: none"> 必要時、助言を受けながら、複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動することができる 支援を受けながら、決められた時間内に業務を終了できるよう、業務を調整することができる 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時には指示を受けながら初期行動をとることができる 				<ul style="list-style-type: none"> 必要時、助言を受けながら、自立的に複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動することができる 決められた時間内に業務を終了できるよう、業務を調整することができる 感染予防を考え、部署における課題を提言できる 医療事故防止を考え、部署における課題を提言 																																				
研修項目	4月	方法	時間	5月	方法	時間	6月	方法	時間	7月	方法	時間	9月	方法	時間	10月	方法	時間	11月	方法	時間	2月	方法	時間	2年目	方法	時間	3年目	方法	時間																								
勤務体制	1～2日目:ペアに加わり完全シャドウイング 3～5日目:ペアに加わり3人で勤務 6日目で降:ペアの一人として勤務						6月～夜勤開始。 最初の2クールはプラス1人として勤務。3クール目より通常人員での勤務を目指す。						指導を受けながら受け持ち患者1名を担当する																																									
1.新人看護師研修の概要	目標と計画(年間看護部教育プログラム)			講義																																																		
2.看護師として必要な基本姿勢と態度	<ul style="list-style-type: none"> 看護組織人としての心構え 看護部門について 看護方式・社会人基礎力 看護者の倫理綱領・患者の権利 接遇・コミュニケーション 看護記録 看護必要度 看護手順基準 看護方式(PNS) パートナーシップマインド 看護観(目指す看護) クリニカルリーダー 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、認知症患者への看護 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスケア 高齢者看護 看護倫理・患者の権利 			講義・演習・OJT			野外研修(奉仕体験)						<ul style="list-style-type: none"> 実践の振り返り(1年間の成長確認) 			講義・演習			メンバーシップ研修 看護倫理 PNSマインド研修(全体研修で)			講義・演習・OJT			リーダーシップ研修 看護倫理 PNSマインド研修(全体研修で)			講義・演習・OJT														
3.技術的側面	<ul style="list-style-type: none"> おむつのあて方、除圧の方法 食事介助の基本(誤嚥防止、ポジショニング、とろみ) 経管栄養 移乗、移動、移送、 安全確保(転倒・転落防止) 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 栄養管理 褥瘡予防ケア 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> 廃用症候群予防ケア 早期リハビリテーション 療養・入退院支援 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア 排泄援助(尿管・便器介助、導尿、膀胱内留置カテーテル挿入と管理、洗腸) 			講義・演習・OJT			状況設定シュミレーション①			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 状況設定シュミレーション② 			講義・演習			ケースレポート(合同発表会)			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> 状況設定シュミレーション③ エンゼルケア 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> ※3年間プログラムの総仕上げの研修 ※看護実践のリフレクション 			講義・演習・OJT		
与薬の技術	<ul style="list-style-type: none"> 輸液ポンプ・シリンジポンプの原理と使用方法 輸液管理:薬剤準備、ボトル交換、挿入部の固定、輸液量の計算等 危険薬(カリウム製剤、インスリン)の取り扱い 			講義・演習									<ul style="list-style-type: none"> 抗菌薬、抗ウイルス薬、インスリン、麻薬の種類・用法の理解と副作用の観察 			講義																																						
救命救急処置技術							<ul style="list-style-type: none"> チームメンバーへの応援要請 			講義・演習・OJT									BLS									ICLS(部署研修)			講義・演習・OJT																							
症状・生体機能管理技術	<ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン測定(触診・聴診・呼吸状態の観察など) 静脈血採血 検体の取り扱い検体・スピッツの種類 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 呼吸を整える技術 フィジカルイグザミネーション 酸素吸入、吸引、ネプライザー 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> 循環を整える技術(フィジカルイグザミネーション、体位調整、心電図モニター、12誘導心電図の装着・管理) 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> 意識障害の対応 			講義・演習・OJT												<ul style="list-style-type: none"> フィジカルアセスメントステップアップ① 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> フィジカルアセスメントステップアップ② 			講義・演習・OJT											
感染防止の技術	<ul style="list-style-type: none"> スタンダードプリコーションの実施 			講義・演習									<ul style="list-style-type: none"> 経路別感染対策 院内感染対策 			講義・演習																																						
その他配属部署で必要な看護技術	配属部署に必要な看護技術 危機管理・消火設備			OJT			配属部署に必要な看護技術			OJT			配属部署に必要な看護技術			OJT			配属部署に必要な看護技術			OJT			配属部署に必要な看護技術			OJT			配属部署に必要な看護技術			OJT																				
助産師教育(助産技術の基礎)												助産師教育(新生児管理)												助産師(新生児管理)																														
4.管理的側面	<ul style="list-style-type: none"> 防災設備 医療安全対策:組織の体制、職員を守る体制、事故防止策、発生時の対応、アレルギー情報の取り扱い 感染対策 医療機器の安全管理 MRI入室時の注意 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 医療安全KYT SBAR 食物アレルギー対応 褥瘡予防ケア:リスクアセスメント、体圧分散等 			講義・演習									<ul style="list-style-type: none"> 事例で学ぶ医療安全(アナフィラキシーショックを含めて) 災害看護 			講義・演習												<ul style="list-style-type: none"> 医療安全(全体研修で) 感染管理 褥瘡対策 			講義・演習・OJT			<ul style="list-style-type: none"> 医療安全(全体研修で) 褥瘡対策 			講義・演習・OJT											
情報管理	<ul style="list-style-type: none"> 診療情報の取り扱い 個人情報保護 看護記録 電子カルテ操作 			講義・演習・OJT																																																		
研修の振り返りフォローアップ				<ul style="list-style-type: none"> 1ヶ月フォローアップ 技術チェック評価① 			<ul style="list-style-type: none"> 振り返り、2ヶ月フォローアップ 			<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月フォローアップ 									<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月フォローアップ 中間評価(技術チェック評価②) 基本的姿勢と管理的側面 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> 9か月フォローアップ 						<ul style="list-style-type: none"> 振り返り、合同発表会 ケースレポート 1年目最終評価(基本的姿勢・技術・管理的側面) 			講義・演習			<ul style="list-style-type: none"> レポート(看護実践報告) 			<ul style="list-style-type: none"> レポート(看護観) 														